

## 将来のことは考え中

チャン・ティ・ゴック・クイン (ULIS)

2017年7月31日～8月10日

ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学の4年生のこの時期、学生時代の最後で最高の思い出をつくろうと考えていた時、この京都大学のサマープログラムの情報を見つけました。日本人の学生だけではなく、タイ、インドネシア、シンガポールのASEANの学生たちも参加するとのことで、多文化交流ができると思い、申し込みました。選ばれてうれしかったです。国際寮に住んでいたときに、異文化に触れ、交流して楽しかったことを思い出しました。そのとき、世界中にいい友達が出来ました。しかし、そのほとんどが欧米人と中国人、韓国人でした。今回のプログラムではASEANの学生たちと交流するチャンスなので、とても楽しみにしていました。

京都に来て、本当に静かな町だと思いました。特別な雰囲気でした。お寺、神社はどこへ行っても見られるくらい多かったです。そういう町に京都大学がありました。はじめて京都大学に来た時の第一印象は、蝉の鳴き声、そして建物内のささやかな香りでした。現代的な設備がそろっており、ラウンジスペースのデザインも良かったです。日本語のクラス分けテストを受け、最初は日本語Ⅱを受講したかったのですが、テストの結果から日本語Ⅲを受講することになりました。しかし、実際に勉強してみると、このクラスの特別な面白さに気づきました。エッセイや文学作品などは時々難しかったのですが、担当の先生が理解できるまで説明してくださったので、せっかく京都大学に来たのだから挑戦して能力を高めようというふうに思い、日本語Ⅲに残りました。非常に楽しく、受けて良かったです。京都大学の入試問題にも挑戦してみました。さまざまな知識が身に付き、特に京都についての理解が深まりました。

このサマープログラムに参加して、日本語の授業以外にも、各研究所・学部の先生方の講義を聴講しました。そうして、京都大学の全体的な教育環境を体験することができました。現在、大学を卒業してから大学院に進もうと考えています。何を研究するか、どの研究科を選ぶか迷っていたので、今回の体験はとても助かりました。さらに、中国、韓国、香港、台湾の学生と一緒に勉強し、交流もできました。長い間使っていない英語力が少し復習できました。京都周辺の文化財見学の学外研修も勉強になりました。台風の影響で中止になった南丹市・京丹波町の学外研修にも参加できていたら素晴らしかったのですが、実施されず残念でした。

ベトナムに帰った今、また将来のことをしっかり考えようと思います。これから自分は何がしたいのか、どうするのか、その答えを見つけようと思います。今回のプログラムのおかげで、たくさんの交流でき、国際関係の興味が広がったので、将来国際関係の仕事をしたいと思っています。